

# 千歳市における宿泊税導入の検討について

令和6年4月16日

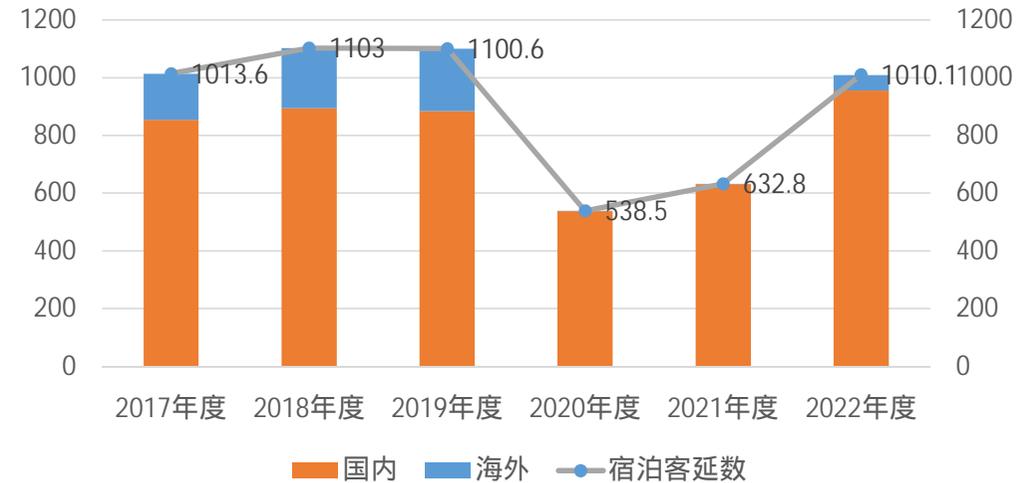
第1回千歳市宿泊税検討委員会

- ( 1 ) 観光の現状
- ( 2 ) 宿泊税の必要性
- ( 3 ) 宿泊税の妥当性
- ( 4 ) 今後のスケジュール予定
- ( 5 ) 宿泊事業者・宿泊者アンケート調査
- ( 6 ) 宿泊税を導入している自治体の税率・用途
- ( 7 ) 宿泊税に関する道内自治体の動き

## (1) 観光の現状

### 千歳市の宿泊客延数（国内・海外）

本市における宿泊者数は、一時、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少しましたが、現在は、国内観光客やビジネス客を中心にコロナ禍前の水準まで回復し、外国人観光客数も増加傾向となっており、今後、激減している中国からの観光客数の回復や多くの企業進出によるビジネス需要の高まりなどにより、さらなる増加が見込まれている状況である。



年度	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
宿泊客延数	1,013.6千人	1,103.0千人	1,100.6千人	538.5千人	632.8千人	1,010.1千人
うち国内	854.6千人	894.6千人	884.7千人	537.6千人	632.2千人	956.0千人
うち海外	159.0千人	208.4千人	215.9千人	0.9千人	0.6千人	54.1千人

# ( 1 ) 観光の現状

## 一般会計・観光費の推移



- R 5 年度の観光費に係る事業 (211,307千円)**
- ・観光PR事業費 14,900千円
  - ・観光客受入体制整備支援事業費 4,051千円
  - ・観光イベント誘致事業費 20,900千円
  - ・イベント支援事業費 18,163千円
  - ・サーモンパーク管理経費 11,232千円
  - ・国立公園保全業務経費 4,697千円
  - ・支笏湖温泉管理経費 3,868千円
  - ・キャンプ場管理運営業務経費 22,432千円
  - ・新しい生活様式に対応した観光創出事業費 6,600千円
  - ・ポロピナイ休憩所管理経費 19,250千円
  - ・観光機関連携業務経費 1,780千円
  - ・観光スポーツ連携事業費 1,611千円
  - ・外国人旅行者誘客事業費 950千円
  - ・道の駅リニューアル事業費 80,873千円

年度	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
一般会計	36,249,262 千円	37,691,407 千円	40,379,238 千円	39,773,982 千円	46,571,825 千円	66,968,881 千円	59,938,776 千円	53,231,337 千円	46,943,414 千円
観光費	325,138 千円	185,111 千円	159,749 千円	192,640 千円	258,521 千円	316,479 千円	245,612 千円	310,578 千円	211,307 千円
比率	0.89%	0.49%	0.39%	0.48%	0.55%	0.47%	0.40%	0.58%	0.45%

## ( 2 ) 宿泊税の必要性

観光を取り巻く環境は、「団体旅行」から「個人旅行」への旅行形態の変化に加え、体験型観光が注目を集めるなど観光客のニーズも多様化・高度化していることから、引き続き誘客を図るためには、**観光客などの利便性や満足度を高める「受入環境の整備」や「観光資源の充実」などに、新たな対応が求められている。**

また、観光産業は、宿泊業や旅行業、飲食業など裾野が広く、本市の発展を支える地域経済にとって大変重要な産業であり、持続的に発展させるためには、観光振興を積極的に展開し、交流人口の拡大と地域経済の好循環を生み出す必要がありますが、これまでの取組に加え、新たな対応を進めていくためには、財源確保が欠かせないことから、**その財源として「受益」と「負担」という観点で、宿泊者に一定の負担を求める市独自の宿泊税導入について検討を進めていくものである。**

## ( 3 ) 宿泊税の妥当性

種 類	安定性・継続性	規 模	受益と負担
地方税	安定的・継続的な確保が可能	対象者の設定等により規模の確保は可能	受益者を広く設定し、負担を求めることが可能 普通税：市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税 目的税：入湯税、都市計画税、 <b>宿泊税</b>
分担金・負担金	特定の事柄に関しては安定的であるが <b>継続的な確保が難しい</b>	<b>受益者を個別に特定する必要があり、規模は限定的</b>	<b>受益者を個別に特定し、受益の範囲内で負担を求める必要がある</b> 負担金：保育所・学童クラブ保護者負担金
使用料・手数料	安定的・継続的な確保が可能	<b>施設等利用者、役務提供先からの徴収となるため、規模は限定的</b>	<b>受益者を個別に特定し、受益の範囲内で負担を求める必要がある</b> 使用料：コミュニティセンター、キャンプ場 地下駐車場、市営住宅 手数料：住民票の発行、し尿処理、塵芥処理
寄付金・協力金	<b>善意や協力に基づくため、安定的・継続的な確保が難しい</b>	対象者の設定により規模の確保は可能	<b>善意や協力によるため、受益者が必ずしも負担する必要はない</b> 寄付金：ふるさと納税

## ( 4 ) 今後のスケジュール予定

### 第 1 回宿泊税検討委員会 (4月16日)

- ・ 観光の現状
- ・ 宿泊税の必要性
- ・ 宿泊税の妥当性
- ・ 今後のスケジュール
- ・ 宿泊事業者・宿泊者アンケート調査
- ・ 宿泊税を導入している市町村の税率・用途
- ・ 宿泊税に関する道内自治体の動き

### 第 2 回宿泊税検討委員会 (7月頃)

- ・ 第 1 回宿泊税検討委員会の振り返り
- ・ 宿泊事業者・宿泊者アンケート調査結果
- ・ 宿泊税の課税要件 (素案)
- ・ 宿泊税の用途 (素案)

### 第 3 回宿泊税検討委員会 (9月頃)

- ・ 第 2 回宿泊税検討委員会の振り返り
- ・ 宿泊税の課税要件 (案)
- ・ 宿泊税の用途 (案)
- ・ 宿泊税検討委員会報告書 (素案)

### 第 4 回宿泊税検討委員会 (10月頃)

- ・ 宿泊税検討委員会報告書
- ・ 市長へ報告書を提出

# ( 4 ) 今後のスケジュール予定

【令和6年(2024年)】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
庁内検討会議 ~	第1回					第2回		第3回				
産業建設常任委員会												
検討委員会 ~				第1回			第2回		第3回			
宿泊者アンケート調査					アンケート							
宿泊事業者アンケート調査・説明会					アンケート			説明会				
検討委員会 提言書										第4回		
条例(案)総務課へ提出												
新規条例(案)提出												



## ( 5 ) 宿泊事業者・宿泊者アンケート調査

### 宿泊事業者用

#### 【質問内容】

- ・施設の種別について
- ・部屋数について
- ・宿泊料金区分の部屋の有無と宿泊延数について
- ・宿泊税を導入した場合の影響について
- ・千歳市が宿泊税を導入することについて
- ・宿泊料金の税率（税額）について
- ・宿泊料金による段階的な課税免除について
- ・修学旅行などの課税免除について
- ・宿泊税の使い道について
- ・その他自由意見

### 宿泊者用

#### 【質問内容】

- ・年代について
- ・お住まいの地域について
- ・主な来訪目的について
- ・千歳への来訪回数について
- ・北海道及び千歳市の宿泊日数について
- ・今回、宿泊される宿泊料金について
- ・新千歳空港と宿泊施設間の移動手段について
- ・宿泊税を知っていますか？
- ・宿泊税の使い道について
- ・支払ってもよいと思う金額の上限について
- ・宿泊税を導入した場合について
- ・その他自由意見

## ( 6 ) 宿泊税導入している市町村の税率・用途

課税団体	京都市	金沢市	倶知安町	福岡市	北九州市	長崎市	
施行日	H30.10.1	H31.4.1	R1.11.1	R2.4.1	R2.4.1	R5.4.1	
税率	2万円未満：200円 2万円以上5万円未満：500円 5万円以上：1,000円	2万円未満：200円 2万円以上：500円	宿泊料金の2%	2万円未満：200円 2万円以上：500円 (上記いずれも、うち県税50円)	200円 (うち県税50円)	1万円未満：100円 1万円以上2万円未満：200円 2万円以上500円	
用途(主なもの)	1 受入環境の整備・充実	○観光地周辺のトイレ様式化 ○公衆トイレ清掃・維持管理、道路除草 ○駅、道路等のバリアフリー化 ○災害時の観光客対策(多言語通訳、帰宅困難者対策等) ○市バス・観光地等の一部における混雑への対策強化	○おもてなし力を高める宿泊施設への改修支援 ○夜間景観の創出 ○公共シェアサイクルの利用促進 ○まちの美化・地域との共存	○歩道等のロードヒーティング	○WiFi拡充 ○MICE拠点形成 ○観光案内機能強化(ICTによるリモート観光案内システム)	○観光案内機能強化 ○北九州空港アクセス推進 ○宿泊施設等改修支援	○MICE向けコンテンツ充実 ○世界遺産保存整備事業 ○総合案内所運営
	2 観光資源の魅力向上(磨き上げ)	○京町屋の改修等継承の取組み ○文化財の保全、継承 ○歴史的景観の保全	○歴史的まちなみや景観の保全 ○伝統芸能、文化継承支援 ○宿泊施設の工芸品展示支援	○景観づくり制度構築	○博多部の資源をストーリーとまちなみでつなぐ環境整備 ○海辺を活かしたコンテンツ造成	○小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ ○皿倉山プレミアム夜景創出	○長崎さるく推進(情報発信、ガイド研修) ○ナイトタイムエコノミー推進
	3 その他	○観光サイトの機能充実、多言語対応強化 ○修学旅行生誘致の取組充実 ○MICE誘致	○海外からの誘致推進のためのプロモーション展開 ○金沢らしい旅行スタイル発信		○デジタルサイネージによる情報発信強化	○海外ウェブサイト活用による戦略的インバウンド誘致 ○メディア活用による観光PR	○観光ワンストップサイトでの情報提供 ○日本新三大夜景情報発信

## ( 7 ) 宿泊税に関する道内自治体の動き

課税団体	北海道	札幌市	小樽市	ニセコ町	函館市	倶知安町	
導入時期 【新聞報道内容】	令和8年度以降 導入を目指す	令和7年11月 導入を目指す	令和7年4月 導入を目指す	令和6年11月 導入予定	未定	令和元年11月 導入済	
税率 【新聞報道内容】	2万円未満：100円 2万円以上5万円未 満：200円 5万円以上：500円	5万円未満：200円 5万円以上：500円	200円	2万円未満：200円 2万円以上5万円未 満：500円 5万円以上10万円未 満：1,000円 10万円以上：2,000円	未定	宿泊料金の2%	
使途(主なもの)	1 受入環境の 整備・充実	○交通手段のシームレ ス化 ○ATガイド育成 ○観光DXによる産業 の生産性の向上 ○社会的な要請への対 応	○宿泊施設や公共交通のバイ アフリー化 ○観光施設、宿泊施設の受入環 境整備支援 ○二次交通の課題解決に向け た取組 ○観光バス対策 ○観光案内機能の充実	○公共無線Wi-Fiの整備 ○観光用循環バス等の整 備 ○観光案内所の機能強化 ○キャッシュレス化の推 進 ○多言語案内の整備	○循環バス運行 ○空港連絡バス運行 ○デマンドバス強化 ○宿泊施設環境負荷支援	○有償観光ガイドの育成 ○宿泊施設改修支援 ○MaaSの導入による移動 サービスの充実 ○視覚的にわかりやすい案 内板、多言語標記の整備	○統一バス停設置 ○外国人患者通訳 ○域内交通網の再整備
	2 観光資源の 魅力向上 (磨き上げ)	○アドベンチャートラ ベル推進 ○新たな観光需要に応 じたツーリズム ○オーバーツーリズム 対策	○観光コンテンツの高付加価 値化支援 ○定山溪地区の魅力アッ プ ○アドベンチャーツーリス ムの推進 ○新たな観光コンテンツづ くり	○歴史的建造物の保全 ○美しい街並みや景観の 保全	○アドベンチャートラベル 等充実 ○着地型旅行の充実	○外国人観光客の滞在環境 向上 ○ニューツーリズムの推進 ○各種イベントの観光資源 化 ○ライトアップ施策の推進 ○「食」の魅力向上、付加価値	○サイクルツーリズム推進 ○観光人材の育成支援
	3 持続可能な 観光振興	○デジタル技術活用によるマーケティング ○危機対応力の強化	○宿泊業界の人材育成・確保、 DX推進、省力化、環境配慮、省 エネ化 ○観光関連施設の防災対策支 援	○国内外のポロモーショ ンの拡充 ○新たな観光資源の開発 ○地域DMOの運営体制強 化 ○災害時に備えた基金の 創設	○観光協会組織強化 ○災害対応等持続化基金積 立	○観光プロモーション ○観光ポータルサイトのリ ニューアル ○ビックデータを活用した 観光動態把握 ○観光施策推進体制の見直 し、強化	○防災備蓄備品整備 ○観光パンフレット作製 ○地域DMO支援 ○集客観光イベント支援